



多摩市立瓜生小学校

学校だより

平成29年度 第1号

平成29年 4月 6日

桜の季節に

校長 吉田 正行

桜のつぼみもやっどほころび始めました。日本人は春の訪れを桜の開花で感じ、新しく何かが始まる期待を膨らませてきました。さらに本校では、様々な木々や集まる小鳥のさえずりからも自然の躍動感を感じることができます。

私は4月1日付で、市内の南鶴牧小学校から校長として赴任しました吉田正行（よしだ まさゆき）と申します。瓜生小学校の子供たちのために全力で頑張る覚悟でまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ平成29年度の始まりです。お子さまのご入学・ご進級おめでとうございます。平成29年度の瓜生小学校は30名の新1年生を迎え、全校児童228名で出発しました。今年度は創立21年目、新たなスタートです。輝かしい歴史と伝統、さまざまな価値ある実践の積み重ねを土台として、瓜生小学校を「創意のある学校、信頼される学校、活力のある学校」にするために、さらに充実した教育活動を展開してまいります。

1 教育目標 **すすんで学ぶ子 思いやりのある子 きたえる子**

「すすんで学ぶ子」は、学んだ知識を生きる知恵にまで高め、広げられるように、基礎学力を定着させ、思考力や学習意欲を高めること。「思いやりのある子」は優しさや寛容の心を持ち、互いの人権を尊重できること。「きたえる子」は、健康な心と体を持ち、頑張り、やり遂げる意志をもつことを、それぞれ目標としています。

2 今年度の主な取組

(1) 学習指導方法の工夫改善を図り、基礎学力を定着させ、思考力、判断力、表現力を伸ばします。ねらいをはっきりさせた授業を行い、基礎学力の定着を図ります。そのために、分かった、楽しいと思える授業を工夫し、子供たちが考え、問題を解決していく学習を充実させます。さらに、読書指導を充実させ、読解力・言語力の向上を図り、タブレット端末や大型テレビ等のICT機器を活用した授業を工夫します。

(2) 豊かな心の育成と規範意識を高めます。

児童一人一人をよく理解し、人権教育を基盤とした教育を推進し、自己肯定感を高めさせます。また、基本的な生活習慣の確立とルールや約束を守る意識を高めることにより、社会の一員としての自覚をもたせさせます。さらに、道徳教育を充実させ、思いやりの気持ちをもって友達や他の人と接する子供を育てるとともに、いじめにつながる兆候を早期に見取り、全員の児童が楽しく学校生活を送れるようにします。

(3) 価値ある体験活動を充実させ、持続発展可能な社会の一員としての資質を高めます。

環境教育、国際理解教育、福祉教育、栽培活動等の体験を重視した活動を充実させます。また、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、海外との交流や日本の伝統文化の理解を通してグローバルに活躍できる人材を育成します。さらに心と体の健康づくりに取り組み、生涯体を動かすことが大好きで何事にも挑戦する子供を育てます。

(4) 防災教育や安全教育を充実させ、児童の危機対応能力の育成を図ります。

防災・安全教育を計画的に進め、防災や安全に対する意識や実践力を高めます。

春季休業中、教職員は新6年生とともに新年度を迎える準備をし、心新たに張り切って今日を迎えました。教育環境を整え、保護者や地域の方々と力を合わせて瓜生小学校をより一層素晴らしい学校に発展させ、子供たちの健やかな成長を図ってまいります。今年度も昨年度同様、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。